

出前講座プログラム（例）

伊能忠敬について知ろう

◇ねらい：伊能忠敬の行った測量方法の体験を通して、伊能図作成の大変さと業績の大きさを理解することができる。

◇対象：小学生4～6年生（1学級）

◇所要時間：45～60分

◇講師：岐阜県図書館郷土・地図情報係職員

◇費用：なし

活動展開例	備考
1 伊能忠敬について知る。 (行基図、オリテリウス日本図、ポルトラーノ日本図、伊能図) ・伊能忠敬がつくった地図は、それまでの日本地図と比べ、本当に正確だ。 ・地球1周分歩いたのはすごい。 *伊能忠敬への興味関心を高める。	【講師】 ・古地図の複製を実際に見せ、年代ごとの変化について説明する。
2 歩測を体験する。 ① 決められた距離(20m)を何歩で歩けるか数えてみる。 (数回行い、その平均値を取る) ② 自分の1歩が何cmなのか計算してみる。 ③ 分からない距離を、歩数で距離を出してみる。 ④ 20mを1複歩で20歩で歩く練習をする。 (計算のしやすい歩数で歩く練習をする)	【講師】 ・歩測の補助を行う。 【担任等】 ・体育館や廊下など、直線で20～30m歩くことができる場所を確保しておく。 始点と終点が分かるように、目印をつけておく。
4 伊能忠敬についてわかったこと等感想用紙に記入し、まとめる。 ・伊能忠敬の行ったことは本当にすごいことがわかった。 ・学校から家までの距離を、歩測を使って調べてみたい。 ・地図にはたくさんの情報がある。昔から地図が描かれていることがわかった。	【講師】 ・感想をもとに、伊能忠敬の業績についてまとめる。 ・さらに深く調べるための手段や方法をアドバイスする。

～活動を計画するにあたって～

- 資料は岐阜県図書館で用意します。必要な枚数を事前に伝えてください。
- 活動に必要な用具は各自で用意してください。
 - ・筆記用具
 - ・色鉛筆（色ペン）
 - ・計算機